編集後記

この編集後記を書いているのは12月31日である．心配されている2000年のコンピューター問題が起こるのかどうか，気掛かりである．その前にこの原稿を書き終えておかなくては．それにしても，これほどまでにコンピューターに支配されてしまった人間と社会は今後いかなる道を辿るのだろうか？

本号の特集は「ICUにおける理学療法」である．草創期における理学療法の対象疾患は主に整形外科系であり，かつ術後に限定されていた．また，その他の疾患も理学療法の対象として拡大してきたが，当初はほとんど慢性期に限定されていた．

その後，理学療法の存在価値が認知されるにしたがい，「ICUにおける理学療法」も積極的に行われ，その有効性が認められている．

西郊氏他には，「ICUと医学的リハビリテーション」について，理学療法を中心に執筆して頂いた．ICUとはいえ，近年，その対象となる疾患も多岐にわたり，それぞれの疾患に応じた対応が必要になってきたことから，高度の専門性が求められている．

亘理氏他には，「ICUにおける重症熱傷患者の理学療法」について執筆して頂いた．なかでも，生命予後を左右する気道熱傷に対する呼吸理学療法は極めて重要である．

濱田氏他には，「ICUにおける頸髄損傷患者の理学療法」として，特に急性期のプログラムについて執筆して頂いた．近年，在院日数が短縮化されたことで，回復期の理学療法を十分に行えない状況にあるのは大きな社会問題である．これに対する今後の対応が懸念される．

稲員氏には，「ICUにおける小児心臓手術後の呼吸理学療法」について執筆して頂いた．先天性心疾患特有の問題として呼吸器系の管理や理学療法が重要となる．

田代氏他には，「ICUにおける簡易シーティングシステムの開発」について執筆して頂いた．異常肢位や筋緊張を呈する障害児に対し，より望ましい座位保持を可能にするシーティングシステムの工夫が望まれる．

入門講座は，山崎氏による「人工呼吸器装着患者の理学療法」，講座は，山本氏による「基本動作の分析」，1ページ講座は，杉元氏による「チャートを用いた評価記録の問題点と対策」である．

（奈良　勲）

理学療法ジャーナル

（第34巻 第2号）

2000年2月15日発行（毎月1回15日発行）

定価（本体1,650円＋税）

（配送料92円）

2000年年ぎめ予約購読料　20,280円（税込）（送料弊社負担）

E-mail：ptj@igaku-shoin.co.jp

Web http：//www.igaku-shoin.co.jp

発　行　株式会社　医学書院

代表者　金原　優

〒113-8719　東京都文京区本郷5-24-3

電話　本誌編集室直通(03)3817-5703（担当：長谷川・富永）

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座　00170-9-96693番

印刷所　三報社印刷㈱　☎(03)3637-0005

広告申込所　㈱医薬広告社　☎(03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2000, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みおよび送信（送信可能化を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています．

R ＜日本複写権センター委託出版物・特別扱い＞

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き，禁じられています．本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です．複写される場合は，そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください．

●編集顧問●

上田　敏
五味重春
津山直一
福屋靖子
松村　秩
横山　巖
（五十音順，以下同じ）

●編集委員●

網本　和
安藤徳彦
内山　靖
大川弥生
高橋正明
鶴見隆正
奈良　勲
吉尾雅春

●編集同人●

伊藤俊一
今川忠男
上田陽之
大峯三郎
岡西哲夫
辛島修二
菊地延子
木山喬博
工藤俊輔
佐々木伸一
佐藤　剛
佐藤秀一
髙口光子
髙田京子
寺山久美子
富樫誠二
冨田昌夫
長尾哲男
仲間　理
長澤　弘
永冨史子
中村春基
橋元　隆
濱出茂治
福田恵美子
前田哲男
牧田光代
丸田和夫
丸山仁司
宮本省三
諸橋　勇
八木範彦
山本和儀

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/09/29 14:36:01